

続く挑戦、未来をつむぐ

大雄会の挑み人

スタッフ特別インタビュー

大雄会第一病院

介護福祉士



2018年に社会医療法人大雄会に入職後、看護補助者として看護師のサポート業務にあたる。その後「介護の知識を得てより深く患者様と関わり、専門性を発揮したい」と感じ、2023年に介護福祉士の資格を取得。現在は高齢患者様が多く入院する大雄会第一病院5階病棟に勤務。介護の知識と技術を活かし、よりよいケアの実践を目指している。

※所属・肩書等は取材時（2023年10月時点）のものです。

続く挑戦、未来をつむぐ。



社会医療法人

大雄会

大雄会は、共に未来をつむいでいく仲間を募集しています

募集職種・条件等は、お気軽に
採用担当までお問い合わせ下さい

採用担当
直通電話

0586-24-8891

受付（平日のみ）
8:30～17:30



大雄会ではどんなお仕事をされていますか？

看護師をサポートしながら、患者様のお世話をしています。検査のための検体の運搬、医療器具の消毒、物品の補充・管理、配膳や食事の介助、患者様が快適に入院生活を過ごすためのシーツ交換や病棟内・お部屋の環境整備…など、たくさんの業務をしています。清潔ケアでは患者様の全身清拭や着替えのお手伝い、洗髪、手浴・足浴のほか、患者様がシャワーを利用される時の見守りや、一部介助等もしています。また看護師と協力して、寝たきりの方の全身清拭も行っています。医療チームの一員として、現場のスタッフとの連携を大切にしながら、日々仕事をしています。



大雄会でのお仕事のやりがいを教えてください。

清潔ケアを通して患者様ご本人やご家族様から「ありがとう」と言われた時、患者様に寄り添い喜びを分かち合えた時など、「人の役に立つことができました！」と実感します。

また先ほどもお伝えした通り、1日を通してとてもたくさんの業務を行っています。1日では時間が足りない時もあります。時には緊急入院の対応で、お部屋の整備や物品の準備を急遽行うこともあります。もちろん業務の優先順位を自分の中で計画するのですが、このような状況下でも計画通りに業務が進められた日は、達成感ややりがいを感じます。

私は働きながら「介護福祉士」の資格を取得したのですが、学んだ知識や技術が現場で活かせるようになったことも、やりがいに繋がっていると思います。

介護福祉士の資格を取ろうと思ったきっかけは何ですか？



最初は看護補助者として働き始めましたが、それはいつか子供たちに「お母さんはたくさんの方のお世話をして、人の役に立つ仕事をしているんだよ！」と胸を張って言えるようになりたいと思ったことがきっかけです。そして約5年間、患者様との関わり方や介助の方法などを経験しましたが、新人の指導を任された時、自分に課せられた責任が重くのしかかり、「自分はまだまだ中途半端だな…」と思いました。

そんな時、「介護や介助についての技術や知識を身につけることができれば、新人指導にも役立てられるし、より深く患者様と関わることができるのでは？」と思うようになりました。また私が勤務する大雄会第一病院は、近い将来「回復期」や「地域包括ケア病棟」に機能が変化します。このタイミングで介護福祉士の資格を取り、専門性を発揮したい！と強く思うようになったことが、介護福祉士の資格取得を目指したきっかけです。

今後、大雄会でどんなことに挑戦したいですか？

今後機能変化する大雄会第一病院において、実務者研修時に学んだ「介護計画の立案」を実践することが、私の挑戦です。一人ひとりの患者様と向き合い、その人に合った介護計画を立て、入院中の不安軽減やADL（日常生活動作）の向上を、患者様と一緒に目指していきたいです。

これからも自分自身の向上に努め、患者様には少しでも安心して入院生活を送っていただけるように、また介護福祉士として学んだ知識や技術を与えられた現場で活かせるように、精一杯努めていきたいです。

